

たくさんの想い出をありがとう！

赤崎小学校閉校記念式典&最後の卒業式！

2月28日、全国で唯一の海の上の学校、赤崎小学校の閉校記念式典が開催され、135年の歴史に幕を下ろしました。

当日は、前日まで降り続いた雨もやみ、まるで天が味方してくれたかのような快晴に。児童や先生、地域の方々、卒業生、歴代の先生など、たくさんの方が式典に参加し、赤崎小学校との別れを惜しみました。

第一部の閉校式で、西川町長は23人の在校生に向けて、「閉校は苦渋の選択。津奈木小学校でたくさんのお友達を作り、競争心を養い、赤崎の子どもは素晴らしいといわれるよう一生懸命頑張ってください。」と言葉をおくりました。また、最後の卒業生となる6年生の林田直樹くん、森山大和くん、高木朋美さんの3人が児童代表のことばとして、児童だけでなく地域のみなさんと一緒にやり遂げた運動会の思い出や、キャンプやカヌーなど自然に恵まれた赤崎小学校だからこそ体験できた思い出を語りました。式の最後には、校旗収納が行われ、赤崎小学校長 和田保隆校長から西川町長へ校旗が手渡されました。



↑ 校長から町長へ「校旗収納」



→ (右から) 林田直樹くん、森山大和くん、高木朋美さん。最後の卒業生です。



↑ 「DOYO組」と一緒に歌いました。



↑ 赤崎小学校最後の卒業証書を受取る高木朋美さん。



→ 雲ひとつない晴天の下、式典に訪れたたくさんの訪問者を、赤崎小学校校舎はこの日も優しく見守ってくれていました。なお、この小学校跡地(校舎)の利用については、住みだくなる町づくりに貢献する事業者を事業提案方式で4月上旬より公募する予定です。詳しくは、総務課企画財政班【☎78-3111(215)】までお尋ねください。素敵な提案を心よりお待ちしております。